

令和6年度第1回京都市上京区基本計画推進会議 摘録

日時：令和7年3月14日（金） 午後3時～午後3時30分

場所：上京区総合庁舎4階 大会議室

参加者：別紙「京都市上京区基本計画推進会議委員出欠一覧」のとおり

1 報告（1）「上京区基本計画2025」の進捗状況について

資料2に基づき事務局から説明。

（主な質疑）

委員 社寺等の協力による地域の防災拠点づくりプロジェクトにおける「防災拠点としての協力に関する協定」11件の締結のうち、社寺と結んでいる数と、今後の見込みは。

事務局 社寺9件、簡易施設1件、保育園1件の11件である。関係構築のため、丁寧に説明しながら取り組んでいく。

委員 「立売」で育む地域の絆と地産地消推進プロジェクトの実施が2件にとどまっている理由は。

事務局 なかなか広がりにくい面もあるが、実施継続等の声をいただいている地域もある。今後も広く声をかけていくとともに、継続いただくところはより深く実施していきたい。

委員 上京区では、文化や歴史を活かした取組を実施してきており、他の地域に負けないものを持っている。上京区文化振興会とも連携しながら取り組んでいただいているが、継続していくにあたり困難なことはあるか。

事務局 困難なことはなく、多くの区民の方に御協力いただき、順調に実施できている。

委員 上京の子どもまつり、おこしやす上京 Season2「食の上京」、「立売」で育む地域の絆と地産地消推進プロジェクトなど、多くの方に来ていただいている取組の紹介があった。実際に参加された方の感想や、今後に向けた改善点等の意見はあったか。

事務局 事業実施の際、アンケートに回答いただく等により参加者の思いを確認している。文化振興会の取組は、参加者が緊張感を持って参加してくださっているという印象と、リピーターが多くいらっしゃるというのが特徴。

「上京の子どもまつり」は、多くの子どもたちに参加いただき、参画団体同士でつながりができたといった感想をいただいている。「上京区ふくしをなんでもしつとこ講座」においては、上映している映画に加え、講演会をもっと充実させてほしいといった前向きな意見もいただいている。批判の声というよりは、応援のメッセージをいただくことが多いと感じている。

2 報告（2）令和7年度持続可能なまちづくり支援事業予算について

資料3に基づき事務局から説明。

（主な質疑）

委員 新規事業についてもう少し詳しくお聞きしたい。

事務局 「京菓子ハレモケモ。」については、別途、上京区民会議にて詳しく説明させていただく。「上京ふれあいネット「カミング」運営事業」については、サイトをリニューアルし、若者を含めた幅広い世代の方に見ていただき、より魅力が発信できるように改修していきたいと考えている。また、「上京をMOWっとプロジェクト」についても、区役所が区民の皆様との結節点となり、新たなつながりを提供できるよう、今まで取り組んできた事業も含めてより一層、結節点としての役割を果たしていくべく、取組を進めていく。

3 報告（3）その他

資料4・5に基づき事務局から説明。

（意見、質問等なし）

【議長発言】

区社会福祉協議会が区役所と同じ庁舎になれば、区役所が活性化すると考えており、実際に上京区は約6年前に移転したことで活性化したと感じている。他区においても、条件が合えば移転するといった流れができており、区役所の活性化に寄与することを理解いただいたことを嬉しく感じているとともに、区役所が区民との結節点としてより発展することを願っている。